

なごみかぜ工房

2024年2月理事長よりなごみかぜ工房の管理者への打診がありました。
管理者としての経験不足により不安な気持ちでスタートした2024年。
スタッフ不足の問題もあり、管理者・サビ管・生活支援員と3足のわらじの一年でした。
毎日がバタバタ。もちろん楽しい事もあり、利用者さん達やスタッフの皆さんと一緒に支え合いながらやり遂げた一年でした。

2025年度のなごみかぜ工房は

1. 【工賃の増額】

- ・2024年度増額し今は18,000円/月（賞与含まず）ですが、目標工賃20,000円/月を掲げ、一円でも多くの工賃を支給する為の具体的な取り組みが求められます。その具体的な取り組みとして

〈パン製造・販売〉・ここ数年材料費高騰により、パンの販売戦略の見直し

- ・販売先の新規開拓（特に土曜日）

〈下 請 け〉・工賃アップの交渉

- ・工賃単価のより高い作業へのシフト変更

〈全 体〉・経費の見直し

2. 【支援の充実】

基本の方針にもあります“常に利用者さんに対する理解と愛情を持ち、支援の内容について常に共通理解を深め、より良い支援の実施”を掲げていきます。

利用者さんの個性にあった支援を行っていくにあたり、家庭との連携を密に共通の支援を行っていきます。また、日頃の状態を常に把握し、日常の“いつもの事”が常態化にならないよう支援記録の充実を図り、更に後追いや「あの時」と振り返りができ、スタッフ一同共通認識と共通支援・報連相を強化し他の事業所含め情報共有を行っていきます。

3. 【スタッフの体調管理】

スタッフ不足によって、なごみかぜ工房のスタッフの有給休暇取得率が低いと見受けられます。

より良い支援を行っていくためには、スタッフも働きやすい環境作りも必要と考えられます。時間外勤務の減少・有給休暇取得率UPを目標に掲げプライベートも充実し心の余裕を持ち、心身共に健康で長く勤めて頂き、利用者さんとの信頼関係を強化していきます。

〈文責・田中唯夏子〉